

What's New in EndNote X3

EndNote X3 では、新機能が追加されると同時に、これまでの便利な機能がさらに改善されています。ここでは、新機能の紹介と、そのご利用方法について簡単にご紹介いたします。

1. 起動が素早くなりました

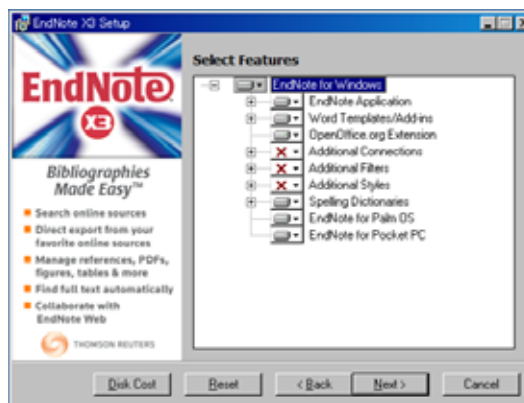
初期インストール時のファイル数を減らすことによって、起動時間が大幅に短縮されました

EndNote が進化するにつれて、ファイル、フィルター、スタイルの数は飛躍的に増え、何千というファイルを起動するため、起動時間も遅くなっていました。EndNote X3 では起動を素早くするため、デフォルトのインストールを主な 100 のファイルに絞りました。(style/filter/connection、各 100 づつ)

もちろん、インストールの時にインストールするファイルの種類をカスタマイズすることも可能ですし、インストール後にファイルを追加することもできます。

カスタムインストールの方法

- アンチウイルス、ワードを含め全てのプログラムを停止し、インストーラーを起動させます。
- インストーラー画面で案内されるインストール手順に従い
- Select Installation 画面が出たら、Custom インストールを選びます
- 保存場所を確認し Next をクリック
- Select Features の画面で、インストールしたい項目を選択します。



- インストーラー画面の指示に従いインストールを完了させます。

インストール後にファイルを追加インストールする方法

- EndNote、アンチウイルス、ワードを含め全てのプログラムを停止し、インストーラーを起動させます。
- Application Maintenance 画面で、Modify を選択し Next をクリック
- Select Features 画面で、インストールしたい項目を選択します。
- インストールを完了させます。

2. ライブラリの圧縮機能も改善

ライブラリの圧縮時に対象レコード・添付ファイルの有無を選択できます

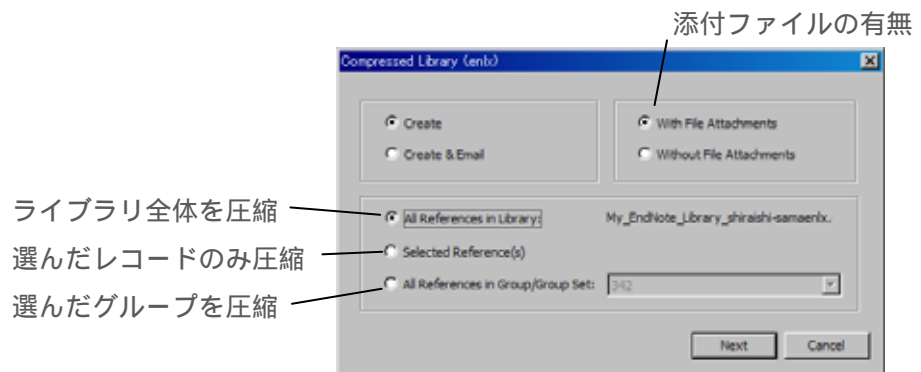
ひとつのライブラリへの格納ファイル数には制限がありません

そのため、バックアップやグループ間での文献情報共有のために、ライブラリ圧縮をする際にオプションを希望する声がありました

EndNote X3 では、ライブラリ内のレファレンス全てについて圧縮オプションを選べます

圧縮する時のオプションの選び方

- EndNote メニューから[File]->[Compressed Library]を選択

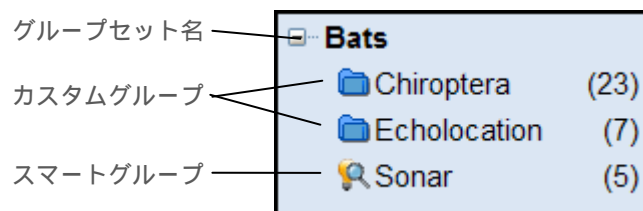


- 圧縮のオプションを選択し、チェックを入れる
- 保存場所と、保存名を指定して[保存]をクリック
- 圧縮されたライブラリ[(ファイル名).enlx]が作成されます。

3. レファレンスのグループ機能も改善

グループの中にグループを作成できるので、文献管理がより効率的になります。

ライブラリ内にグループセットが作成でき、さらにその各グループの中にカスタムグループとスマートグループを作成できます。グループはトータルで 500 まで作ることができます。



グループ分けを変えたいと思った時にはグループをドラッグ & ドロップするだけで、他のグループへ移動できます。

グループセットの作成方法

- EndNote メニューの[Group]->[Create Group Set]を選択
- 作成したグループセットに名前を付け Enter キーをクリックします

グループセットの中にカスタムグループを作成する方法

- 上記で作成したグループセットの名前の上で右クリックし、[Create Group]を選択します。
- 作成したグループに名前を付けます。
- カスタムグループはフォルダアイコンで示され、このグループにレコードを加えるときは、手動でレコードをドラッグ&ドロップします。

グループセットの中にスマートグループを作成する方法

- グループセットの名前の上で右クリックし、[Create Smart Group]を選択し、作成したグループに名前を付けます。
- 検索基準を設定し、検索に名前をつけ、Create をクリックします。
- 設定した検索基準に従い、自動的にグループが更新されます。

その他自動的に作成されるグループ

- ライブラリ内のレファレンスがグループに分類されていない場合は、Unfiled グループに表示されます。
- ライブラリ内でアクションを起こした時に、その結果を示す一時的なグループが表示されます。

4. 重複文献の比較機能

重複した文献を左右に並べて比べて比較できます

重複したレコードを検索すると、一覧画面で既存レコードと重複レコードが表示されるだけでなく、自動的に既存レコードと重複レコードの詳細が左右に並んで表示され、どちらのレコードを残すか決めることができます。

重複文献のレコードを表示させる方法

- EndNote メニューの[Rferences]->[Find Duplicates]を選択します。



- 出てきた画面で左右の重複文献を比較し
- [Keep This Record]をクリックすると、選択したレファレンスが残り、もう一方が Trash に捨てられます。
- [Skip]をクリックすると、両方のレファレンスが残り、以降も同じように重複文献として表示されます。
- [Cancel]をクリックすると、画面が閉じます

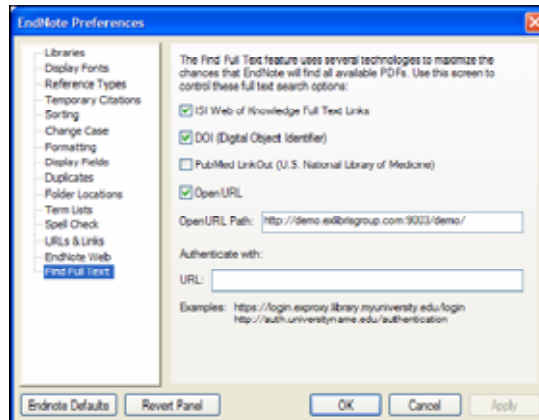
5. Find Full Text 機能の改善

Find Full Text の機能に接続先の指定ができることで、検索精度がアップしました

OpenURL をあなたのご機関に合わせて設定することができるようになりました。

Find Full Text のオプション設定方法

- EndNote メニューから[Edit]->[Preferences]を選択
- 画面左の[Find Full Text]をクリック



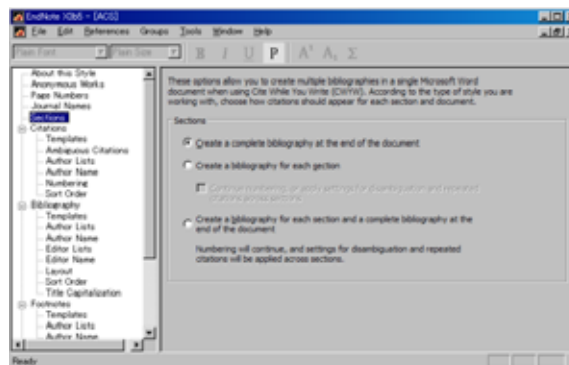
- 出てきた画面上で、検索オプションを選択しチェックボックスにチェックを入れます。
- ご機関が OpenURL サーバーへのアクセスを許可しているなら、OpenURL にチェックを入れ、URL を記入します。認証ページがある場合は、その URL を Authenticate with 欄に記入します。

6. 複数参考文献リストの作成

各セクションの間、文末、あるいはその両方に参考文献リストを作成することが可能に

参考文献リストの作成場所を指定する方法

- EndNote メニューから[Edit]->[Output Styles]->[Open Style Manager]を選択し
- 使用したい投稿スタイルを選択し、Edit をクリック
- 画面左側の[Sections]を選択する



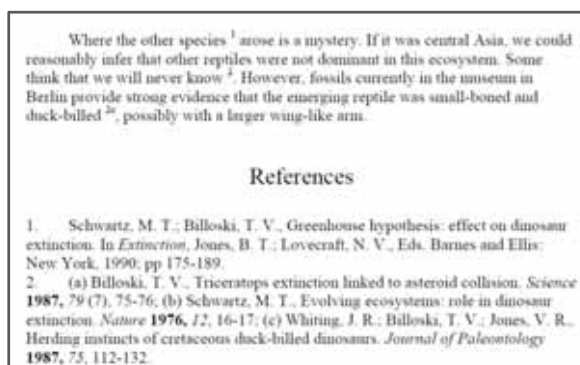
- 画面右側からどこに参考文献リストを作りたいかチェックを入れる。

- Word 本文上で、文献を必要な箇所に挿入する。デフォルトでは、参考文献リストは文末にのみ作成される。
- Word のアイコン集のページレイアウトのタブを開き
- ページ設定の中から、セクション区切りを選択し、各セクションの間に区切りを指定する。
- 編集した投稿スタイルを選択して適用させ、参考文献リストをフォーマットする。

7. グループ引用形式の投稿規程

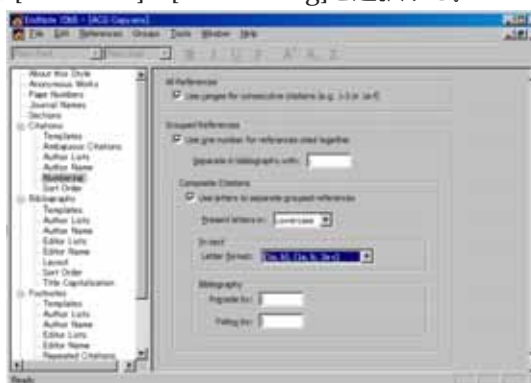
アメリカ化学会(ACS)等化学系雑誌に多い、グループ引用の投稿形式にも初めて対応

雑誌の投稿スタイルには数字と文字を組み合わせた特別のグループ引用形式を求めるものがあります。Composite style と呼ばれるこのスタイルは、EndNote X3 になって初めて搭載されました。



数字と文字を組み合わせた Composite style 形式の作成方法

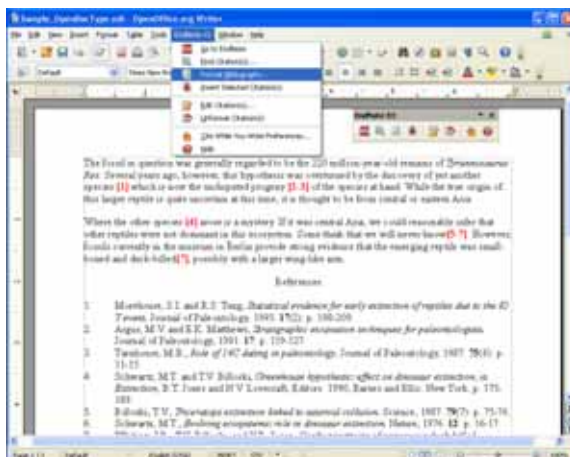
- EndNote メニューから[Edit]->[Output Styles]->[Open Style Manager]を選択し
- 使用したい投稿スタイルを選択し、Edit をクリック
- 画面左側の[Citations]->[Numbering]を選択する。



- 画面右側の Grouped References 欄の、[Use one number for references cited together]および[Use letters to separate grouped references]のチェックを入れる。
- 数字と文字の表記を好みに指定する。
- [File]->[Save As]で編集したスタイルを保存する。
- Word 上で編集したスタイルでフォーマットをし、表示を確認する。

8. Cite While You Write が Open Office に対応

Cite While You Write は、Microsoft Word だけでなく、Open Office 3 にも対応が可能になりました。



Open Office 上から引用検索および挿入を行うことができ、Microsoft Word や Apple Pages '09 と同じように、投稿スタイルのフォーマットを行えます。投稿スタイルもいつでも変更できます。

以上、駆け足で EndNote X3 Windows の拡張機能をご紹介しました。

EndNote X3 Windows について、より深くご理解いただき、快適にご活用いただけるよう願っております。下記の URL からダウンロードできるチュートリアルもご参考にしていただければ幸いです。

http://www.usaco.co.jp/products/isi_rs/demo.html

ユサコ株式会社

〒106-0044 東京都港区東麻布 2-17-12
Tel.03-3505-3257 / Fax.03-3505-6283
技術的なお問合せ： Email:endnote@usaco.co.jp

 0120-551-051

(無断転載を禁ずる)